

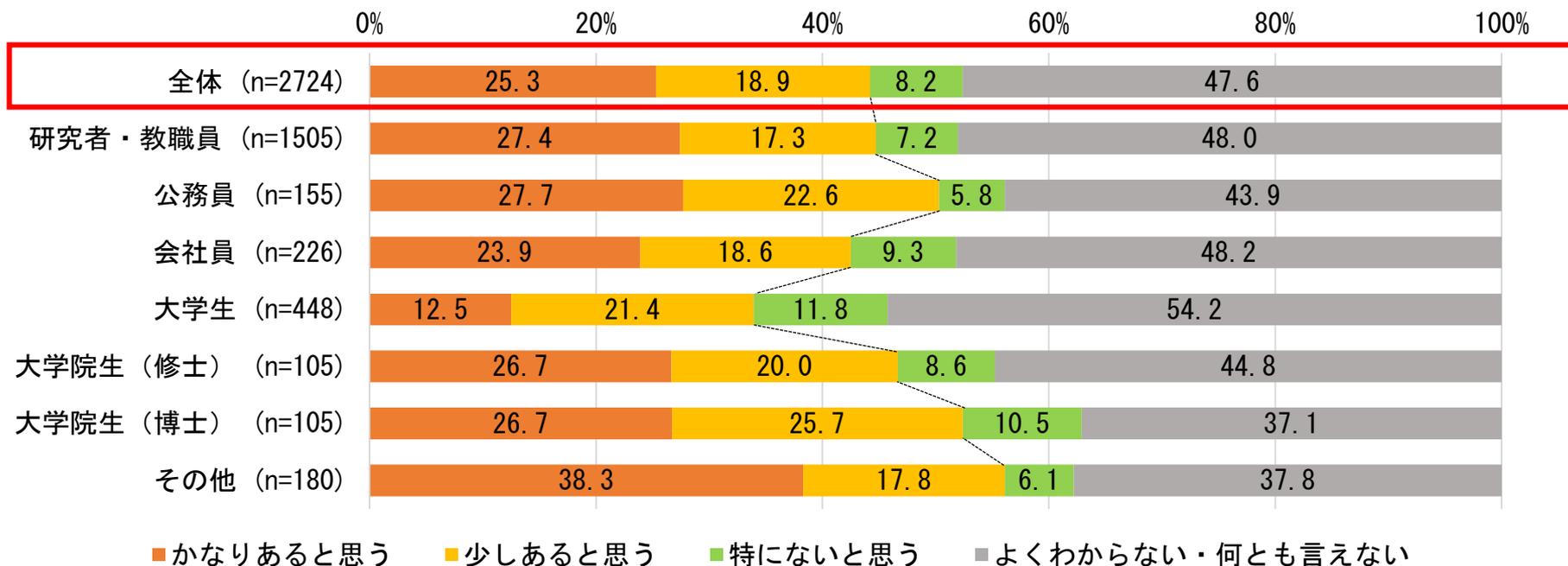
## 1. 調査概要

- ・実施期間：令和4年3月1日（火）～令和4年3月14日（月）
- ・調査対象：各種統計調査を使って調査分析を行う研究者、大学教員、その下で分析を行う学生 等
- ・回答数：2,724

## 2. 調査結果

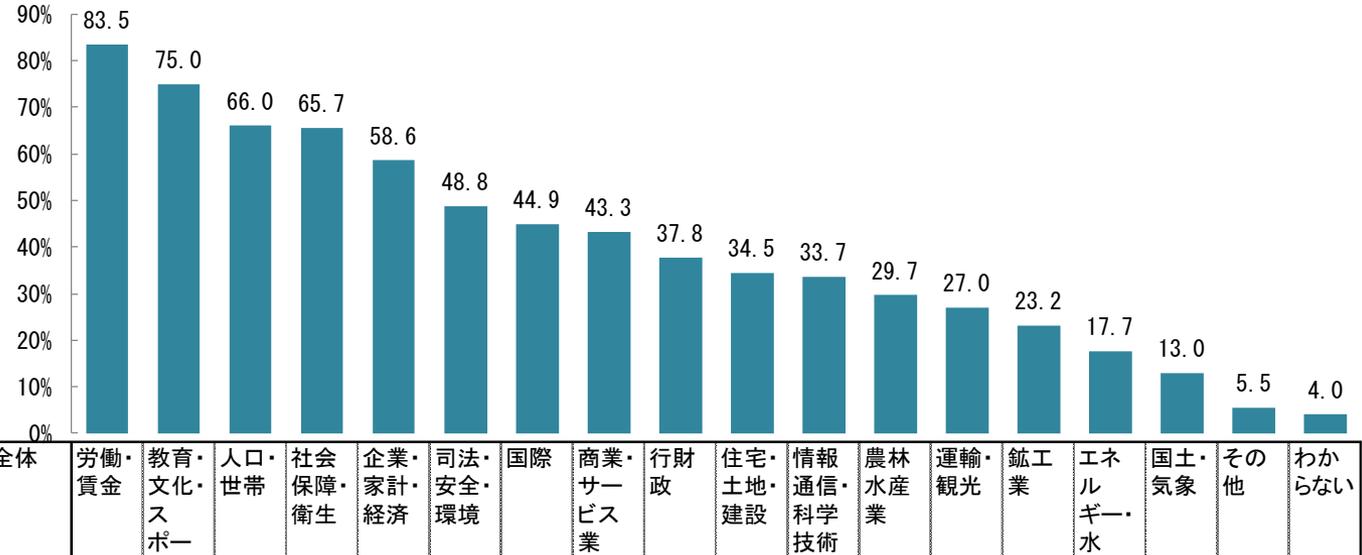
## (1) 男女別にすべき、もしくは男女別状況を把握するために改善すべきと考える政府統計のデータの有無

- ・回答者の44.2%が、男女別にすべき、もしくは男女別状況を把握するために改善すべき政府統計は「ある」と回答。
- ・「特にない」は8.2%。



## (2) 男女別にすべき、もしくは男女別状況を把握するために改善すべきと考える政府統計のデータの分野

- ・「労働・賃金」が最も多く、次いで「教育・文化・スポーツ・生活」、「人口・世帯」、「社会保障・衛生」、「企業・家計・経済」が続く。



全体		(1204)	83.5	75.0	66.0	65.7	58.6	48.8	44.9	43.3	37.8	34.5	33.7	29.7	27.0	23.2	17.7	13.0	5.5	4.0
全体	研究者・教職員	(673)	83.8	78.3	69.2	68.6	62.3	50.2	49.2	45.0	40.1	36.7	38.0	33.9	30.2	26.4	20.1	13.1	5.1	2.7
	公務員	(78)	84.6	70.5	65.4	64.1	52.6	47.4	34.6	42.3	37.2	33.3	29.5	28.2	28.2	23.1	19.2	19.2	6.4	7.7
	会社員	(96)	86.5	70.8	72.9	66.7	54.2	54.2	44.8	45.8	43.8	41.7	39.6	31.3	31.3	27.1	20.8	19.8	10.4	2.1
	大学生	(152)	72.4	67.1	52.6	53.3	48.7	39.5	32.9	32.9	22.4	17.8	18.4	15.1	11.2	11.2	5.3	3.9	0.7	10.5
	大学院生(修士)	(49)	87.8	75.5	59.2	61.2	61.2	40.8	44.9	44.9	30.6	30.6	22.4	16.3	14.3	4.1	8.2	8.2	4.1	6.1
	大学院生(博士)	(55)	83.6	67.3	61.8	65.5	56.4	38.2	36.4	34.5	29.1	30.9	23.6	14.5	16.4	14.5	10.9	7.3	1.8	3.6
	その他	(101)	92.1	76.2	64.4	67.3	58.4	59.4	47.5	49.5	48.5	42.6	36.6	37.6	36.6	29.7	24.8	19.8	12.9	1.0

(3) 男女別にすべき、もしくは男女別状況を把握するために改善すべきと考える政府統計のデータ（自由記述）

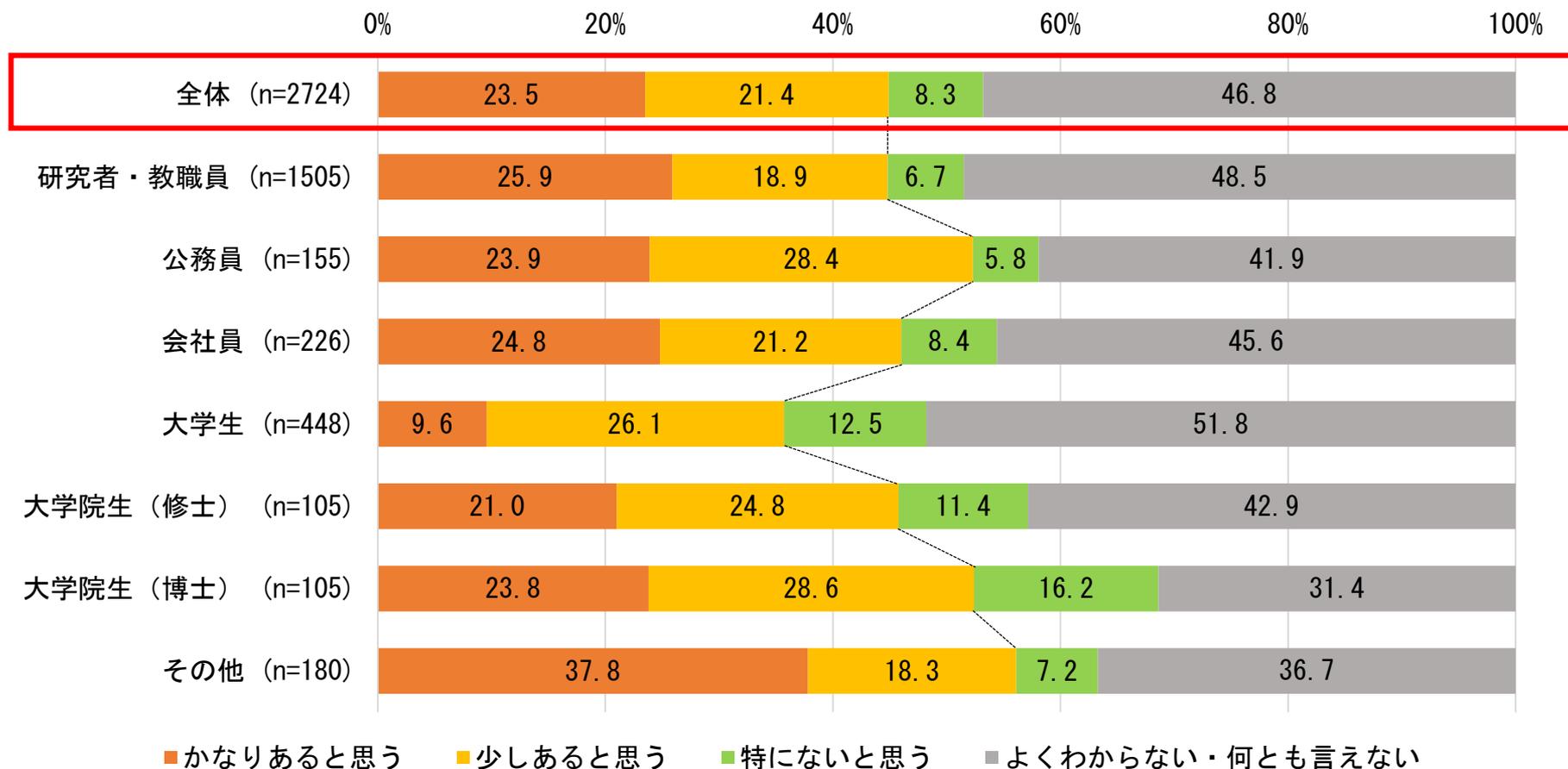
・教育関係のデータに関する回答が上位を占め、次に、労働・賃金系のデータに関する回答が多い。

調査名	回答数
1 学校基本調査	33
2 学校教員統計調査	32
3 科学技術研究調査	26
3 民間給与実態統計調査	26
5 賃金構造基本統計調査	25
5 労働力調査	25
7 地方公務員給与実態調査	20
8 社会生活基本調査	18
9 就業構造基本調査	16

調査名	回答数
10 国民生活基礎調査	15
11 国勢調査	14
12 患者調査	13
12 毎月勤労統計調査	13
14 家計調査	12
15 社会教育調査	8
15 人口動態調査	8
（以下、略）	
総計	468

#### (4) 男女別にすべき、もしくは男女別状況を把握するために改善すべきと考える政府統計以外の調査の有無

- ・ 回答者の44.9%が、男女別にすべき、もしくは男女別状況を把握するために改善すべき政府統計以外の調査のデータは「ある」と回答。
- ・ 「特にない」は8.3%。



## (5) その他、ジェンダー統計についての意見（自由記述、n=286）

### ○統計における男女別データの重要性に関する意見

- ・ ふだん調査をしていて、男女別のデータがなくてジェンダーの影響がわからず、分析できないという場合が何度かありました。一方で、男女のカテゴリにあてはまらない人たちの存在に光が当たるようになったことで、男女別の記載をなくそうという動きがあり、危機感も覚えます。設問の工夫などによって、性的少数者を傷つけない調査ができるのではないかと思います。日本のジェンダーギャップ指数が低いのは、ジェンダー不平等の実態に関する認識がなかなか広まらないことも一因だと思います。

### ○ジェンダー統計・性別欄を問うことの必要性を周知するべきとの意見

- ・ なぜ性別を問うのかの理由を明確にして問うことが大事だと思います。社会的に男性（女性）とみられることによって生じる差異を明確にしたいのか、性の自認から生じる社会生活のしづらさを明確にしたいのかなど、それぞれは分けて整理する必要があると考えます。
- ・ 調査の目的をはっきりさせる必要があります。そうでなければ、どのように自分の性を表現するか決定することは困難です。

### ○LGBTQに関する統計の充実の必要性に関する意見

- ・ 国勢調査で同性パートナーについても統計を出してほしい。
- ・ LGBTQ+コミュニティの統計を取ってください。統計がなければ適切な支援に繋がりません。

### ○調査項目のジェンダーバイアスに関する意見

- ・ 単に性別を分けた統計をとるだけでなく、各項目にジェンダーバイアスがかかっていないか注意して欲しいです。

### ○使いやすい方法でのデータの公表・分析の充実に関する意見

- ・ 調査による把握が不可欠であると共に、使いやすい形でのデータの公表や、わかりやすい公開を望みます。